

世界へ挑戦 えひめ国体優勝



成年女子
三段跳
宮坂 楓
(ニッパツ)



成年男子
800m
川元 奨
(スズキ浜松AC)

(写真提供:陸上競技マガジン)

目 次

- ① 国体優勝 宮坂 楓・川元 奨 選手
- ② 萩原会長 新春のご挨拶、2018年の抱負
- ③ 2017年文科省・日本陸連栄章受章者
- ④ えひめ国体入賞者紹介
- ⑤ えひめ国体長野県選手団成績
- ⑥ ジュニアオリンピック結果
- ⑦ 全国小学生クロスカントリーリレー研修大会
- ⑧ 全国中学校駅伝競走大会結果
- ⑨ 東日本女子駅伝他結果
- ⑩ 長野陸協主要大会結果一覧
- ⑪ 長野陸協会議録・お知らせ
- ⑫ 全国高校駅伝 佐久長聖優勝・長野東準優勝

新春のご挨拶 長野陸協会長 萩原 清



明けましておめでとうございます
平成 29 年 2 月に故小坂憲次会長の後を受け、長野陸上競技協会の 8 代目会長に就任いたしました、早いもので 1 年が経過いたします。

さて、昨年の県陸上界を振り返りますと、新年早々に行われた全国都道府県対抗男子駅伝の 7 回目優勝に始まり、8 月ロンドンで開催された世界陸上男子 50km 競歩においては荒井広宙選手が銀メダルを獲得して日本を世界にアピールするなど、素晴らしい成果を収めました。年末には、ご承知のとおり全国高校駅伝において、男子は、佐久長聖高校が 2 回目の優勝、女子は長野東高校が県内初となる準優勝という輝かしく素晴らしい結果を残してくれました。監督、選手をはじめご関係の皆様に敬意を表します。これらの活躍が、駅伝をはじめ本県陸上競技界の更なる飛躍に繋がるものと信じております。

また、会長としては長野マラソンのスターターの仕事から始まり、県内小・中・高・高専・大学・実業団・一般等の各種陸上大会や各地域での駅伝・マラソン大会に出席さ

せていただき、年間を通しての大会の多さに驚きました。

そして、これらの大会運営が出来るのも毎回 100 人を超える審判員、補助員の協力がなければ成り立たない訳でありまして、関係する皆様に改めて感謝を申し上げる次第です。どうか選手の皆様にも、このように協力していただいている人達があり、大会が成功に導かれていることを忘れないで欲しいと思います。

新しい年は、10 年後長野国体の元年あるいは 2020 年東京オリンピックに向けても協会として、非常に重要な年となります。選手強化の競技力向上、審判員の増員、陸上競技場施設の改修・あり方など、早急に対応するものが多々あり、そのために是非とも県民の皆様のお力添えを得ながら、一步一步着実に進んで参りたいと思っております。

それにより、迫ってきている 2020 年東京オリンピックに、私ども協会から一人でも多くの選手が、出場できることを願うところです。

今年が協会にとって素晴らしい 1 年となりますこと、また会員ならびに選手の皆様の一層の活躍をご祈念申し上げ新年のあいさつといたします。

2018 年の抱負 — 2020 年東京オリンピックに向けて —



宮坂 楓

ニッパツ (日本発条株式会社)

2017 年シーズンもたくさんの応援・サポートありがとうございました。振り返ってみると、思うような結果には

ならず、悔しい思いをすることが多かった気がします。その中でも、日本選手権 2 連覇、アジア選手権出場と今後の成長に繋げられる経験もすることができました。また、今年の 10 月に愛媛県で行われた国体では、長野県代表として出場し、中学校の時からお世話になっている先生方と一緒に戦えたこと、個人として優勝もできたことはとても嬉しかったです。

2018 年はアジア大会が開催されます。東京五輪に向けて世界で戦える選手になるためにはまずはアジア地域で戦えなくては通用しないのでとても大事な年になると思います。アジア大会でメダルを取ること、日本記録である 14m04 を更新することを目標に、次のシーズンに向けて練習に励みたいと思います。いつも皆様の応援が後押しになっていますので、今後とも応援よろしくお願ひします。



川元 奨

スズギ浜松アスリートクラブ

昨年は様々なことがありましたが私が一言で表す「悔しい」に尽きます。毎年目標にしていますが昨年も自己記録である日本記録の更新をすることが

できませんでした。また世界陸上には標準記録を突破できず出場することが出来ませんでした。しかし、悔しい反面で、日本選手権 5 連覇を達成できたことは嬉しかったです。

今年は毎年の目標である 800m 日本記録の更新、また新たに 1500m にも挑戦し、日本でトップになれるタイムを出したいと考えています。そしてアジア大会では 800m・1500m の 2 種目で出場し、良い結果を出したいと思います。

そして 2020 年には東京オリンピックが開催されます。私は必ず出場したいと常に思ってトレーニングしています。ただ出場するだけでは意味がありません。予選、準決勝を勝ち進み決勝の舞台に立つことが目標です。その目標を達成するために、日々のトレーニングや様々な大会などに、常に良い状態で臨めるよう頑張っていきたいと思ひます。また日本記録も更新をし続けて行きます。

今後とも応援よろしくお願ひ致します。

文科省・日本陸連・日体協関係 栄章受章者

文部科学大臣表彰

○平成 29 年度生涯スポーツ功労者表彰
細田 紀一氏 (県陸協顧問、元副会長)



アスレティックス・アワード 2017

○アスリート・オブ・ザ・イヤー：荒井広宙選手
12月19日に開催された日本陸連アスレティックス・アワード2017において、荒井広宙選手が、アスリート・オブ・ザ・イヤーに選出された。今年で11回目となるこの賞は、日本陸上競技選手権大会の優勝者の栄誉を称えるとともに、国内外での活躍が顕著な競技者や陸上競技を通じて社会に貢献した競技者・関係者を表彰している。



【荒井選手コメント】
この度、日本陸連のアスリート・オブ・ザ・イヤーを受賞させていただきました。このような素晴らしい賞をいただけたことを大変光栄に思います。この賞は、地元長野県の皆様をはじめ多くの方々のお力添えのおかげです。心より感謝申し上げます。今回の賞を糧に一層精進して行きたいと思っております。

(写真提供：フォート・キンモト) 今後とも皆様の変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

(ご協力：自衛隊体育学校広報班)

(公財)日本陸上競技連盟栄章

第72回えひめ国体(10月7日)で、次の方々が受章された。



左から大坪氏、酒井氏、萩原会長、小坂氏、伊藤副会長

- 秩父宮章 故 小坂憲次氏 (県陸協前会長)
ご令室 小坂まり子様のご出席された
- 高校優秀指導者章 大坪 章男氏 (飯田病院)
高田浩二(1998、1999 全国高校 5000mW 連覇等)選手他指導
- 中学優秀指導者章 酒井 剛氏 (赤穂中教員)
山本大地(2007ジュニアオリンピック ジャバックスロー6位等)選手他指導
- 勲功章 荒井広宙氏 (自衛隊体育学校)
ロンドン世界陸上競技選手権大会 50km 競歩 銀メダル
- 競技者育成章 萩原 信幸氏 (上田東高教員)
荒井広宙選手の高校時代の指導者



国体にて 萩原氏(左)、荒井氏 前会長ご令室 小坂まり子様

(公財)日本体育協会・長野県関係

- 日本体育協会 公認スポーツ指導者等表彰 (12月9日)
西片 功氏(長野市支部相談役)：資格取得後34年間、特に長野国体(1978年)直後に長野市小学生陸上競技教室を立ち上げ、継続的に小学生の指導育成に尽力されている。
白澤 禎介氏(評議員、大北支部前会長)1968年に松川村でランニングクラブ「松川村健走会」を立ち上げ、資格取得後(33年間)も、幅広いメンバーの指導を担当されている。
- 長野県教育関係功労者表彰 社会体育功労 (11月16日)
富松 健夫氏 (評議員、元副会長、上田支部名誉会長)
県陸協理事以上の役職20年担当の功労が認められた。

第 72 回えひめ国体 天皇盃 11 位、皇后盃 9 位

監督 藤森 要(諏訪実業高校教員)
名取 和訓(下諏訪向陽高校教員)

10月6日(金)から5日間にわたって開催された第72回国民体育大会「2017 愛顔つなぐえひめ国体」に選手29名、29種目(1種目棄権)に参加させていただきました。天皇杯獲得得点60点と10種目以上の入賞を目標に掲げて臨みましたが、天皇盃では55点を獲得し、11種目において入賞を果たすという活躍をするとともに、天皇盃11位、皇后盃9位という成果を収め無事大会を終えました。

大会期間中、萩原会長、伊藤副会長、内山理事長、玉城副理事長はじめ多くの役員の皆様には選手への激励や温かいご声援を賜り本当にありがとうございました。

また大会を無事終わられましたのも、長野県体育協会、長野県教育委員会、長野陸上競技協会をはじめ、多くの皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今大会の成績を反省するとともに、更なる向上心を持って次年度の福井国体に向けて普及強化策をすすめてまいります。今後とも一層のお力添えをお願いいたしまして、結果報告とお礼とさせていただきます。

2位 少年共通女子 1500m 4分20秒39
6位 少年A女子 3000m 9分01秒36(県・県高校新記録)
和田 有菜 (長野東高校3) 3年連続入賞



1500mと3000mに出場させていただき、2種目入賞することができました。しかしすべて納得のいくレースというものはできませんでした。1500mでは自分でレースをつくることの難しさ、3000mでは全国のレベルがさらに高くなっていることを肌で感じました。また一つ学ばせて頂いたことに感謝しています。

4月からは大学で競技を続けます。高校で培ってきたものをさらに伸ばせるように精進します。そして長野県に貢献する選手になって戻ってきます。これからもよろしくお願ひ致します。

優勝
成年女子 三段跳 13m58(+2.1)
宮坂 楓 (ニッパツ)
2連覇 コメントはP2参照

優勝
成年男子 800m 1分48秒00(大会新)
川元 奨 (スズキ浜松AC)
コメントはP2参照

2位 少年A男子 5000m 14分00秒39 (日本人トップ)
中谷 雄飛 (佐久長聖高校3)



優勝を目標に臨み、スタートから先頭に立ってレースを進めましたが、留学生選手のペースアップに対応できず、結果は2位でした。優勝を狙っていただけに悔しさはありますが、

力は出し切れたと思います。悔しさを忘れず、これからも練習に取り組んでいき、今後は世界大会の舞台で勝負できる様に、自分の武器であるラストスパートやスピードに磨きをかけていきたいです。



3位 成年女子 5000m 競歩 22分25秒61 (長野県新記録)
溝口 友己歩 (早稲田大学2) 3年連続入賞

5000mWでは、長野県新記録で3位入賞することができました。今の力を出しきることができ、自己ベストもついてきて自信になりました。来年は更に成長して長野県チームに貢献できるよう頑張りたいです。



目標の東京オリンピック出場には、大体今回の国体と同じペースで20kmを歩けなければいけません。これからロードシーズンとなり20kmのレースが増えるので、しっかり距離を踏み、力をつけていきます。

4位 少年女子共通 やり投 50m93(北信越・県高校新記録)
湯本 珠美 (松商学園高校3)



初めての国体でしたが、コンディションをしっかりと整え挑むことが出来ました。

1本目から記録を残すことができ、最終投擲では自己ベスト更新また県高校記録、北信越高校記録を更新することができとても嬉しかったです。

また、全国大会を経験したことで

新たな課題を見つけることができました。

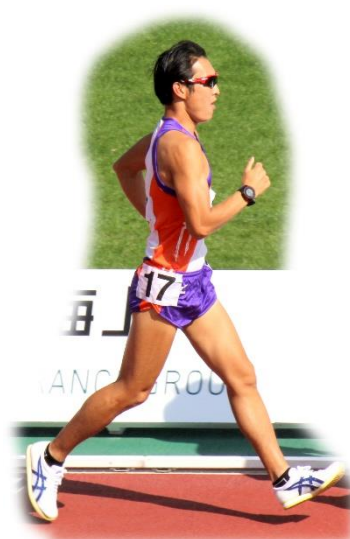
来シーズンの抱負は、大学1年目から自己ベスト更新を目指し、全国大会の舞台上で戦っていきたくと思います。

4位 少年B男子 3000m 8分36秒34 (予選3着 8:22.13)
服部 凱杏 (佐久長聖高校1)



今大会には優勝を狙って臨みましたが、結果は4位ということで、とても悔しい結果となりました。全国の舞台上で自分の力を発揮できず、全国制覇の難しさと自分の弱さを痛感しました。しかし、今まで経験したことの無いレースを経験することができたので、今回の結果を受け止め、経験を成長につなげていき、勝負強い選手になりたいと思いました。

6位 成年男子 10000m 競歩 41分44秒13 12回出場
藤澤 勇 (ALSOK) 12回入賞



12回目の出場となった愛媛国体において6位入賞を果たすことが出来ました。また、入賞回数も12

回目となりました。これも長野県の陸上競技関係者皆様の支えがあつてのことと感謝しております。

今後は、東京五輪の出場を目指してより練習に励んでいくつもりです。まずは、今年行われるアジア大会代表を目指して頑張っていきます。

7位 少年A女子 走幅跳 5m83(+0.9) 4年連続入賞
森本 知隼 (松本県ヶ丘高校3)



陸上競技を始めてまだ9年目ですが、高校3年生のシーズンは、春・夏の不調を多くの先生方に頼り乗り越え、秋には2つの全国入賞をするという本当に怒涛の1年でした。

国体では、長野県チームの一員としてわずかながら貢献することができました。

「長野」という地で陸上競技に熱中し、得ることのできた多くの出会いは私の人生において唯一無二の財産です。長野県出身選手として地元を沸かせるように今後も全力で成長していきます！

8位 少年A男子 100m 10秒74(+4.2) 準決3着 10.65(+0.1)
デーデーブルーノ (創造学園高校3)



少年男子A100mでは最低限の目標にしていた入賞はできましたが、結果的に決勝進出者の最下位でしたので、とても悔しく自分の未熟さを感じました。

4月から大学に進学して練習を積み、頼りにされる選手・必要とされる選手になるよう頑張ります。佐藤賢一先生をはじめ多くのスタッフ・関係者の皆さんにお世話

になりました。ありがとうございました。

【上記以外の長野県選手団結果一覧】

※決：決勝、準：準決勝、予：予選、()内は順位
(成年男子)

- 100m 原 翔太(スズキ浜松AC) 予10.45(2)、準10.42(4)
- 400mH 小林 英和(法政4) 予51.42(5)
- 走高跳 芋川 駿(法政大3) 決2.05(16)
- 走幅跳 嶺村 鴻汰(富士通) 決7.29 -1.1(13)
- やり投 塩川 拓(国武大2) 棄権 (故障)

(少年A男子)

- 400mH 熊谷 悟 (創造学園高3) 予55.12(5)
- 走幅跳 小山 竜司(東海大諏訪高3) 決6.64 -0.1(24)

(少年B男子)

- 100m 齊藤 舜太郎(長野北部中3) 予11.14 +0.3(5)

(少年共通男子)

- 5000mW 鈴木 英司(長野工業高2) 決22:02:11(12)

三段跳 竹井 温巧(東海大諏訪高3) 決 14.52 +2.3(16)

(成年少年男子共通)

4x100mR 予 40.34(1)(中野涼介、原、齊藤、デーデー)

4x100mR 準 41.30(8)(中野涼介、小山、齊藤、デーデー)

(成年女子)

100m 今井 沙緒里(飯田病院) 予 12.05(5)、準 11.94(6)

走高跳 小野 美紗(日本女子体育大3) 決 1.65(15)

ハンマー投 中島 未歩(八幡屋儀五郎) 記録無し

(少年A女子)

400m 加藤 詩萌(長野日大高3) 予 56.47(3)、準 56.64(6)

(小年B女子)

100m 唐澤 花実(市立長野高1) 予 12.57(3)、準 12.64(7)

砲丸投 小林 弥希(松商学園高1) 決 11.54(9)

(少年共通女子)

棒高跳 小林 奏(佐久長聖高3) 決 3.50(12)

三段跳 宮澤 歩(諏訪二葉高2) 決 12.00(14)



野竹 康之先生 窪田 勝先生 土岐 一生先生
中野市 野竹接骨院 千曲市 くぼた整骨院 飯田市 とき接骨鍼灸院



選手を支えていただいている JATAC 長野トレーナーの皆さんには 20 年以上お世話になっている。今回は、県体協マルチサポート事業により派遣していただいた。感謝です。

第 48 回ジュニアオリンピック大会 宮原 凜成 女子C 走幅跳 優勝

選手団監督 ・ ジュニア部長 酒井 剛
普及強化委員長 藤森 要

10 月 27 日 (金) ~29 日 (日) に日産スタジアムで行われました標記大会は、優勝 1 を含む 5 種目において入賞することができました。また、自己記録を延べ 8 名が更新するとともに、自己 2 番目 3 番目といった自己記録に近い記録を出した選手も多数おり、徐々にではありますが、大きな舞台で力を発揮できる選手が増え、「Team Nagano」を合い言葉に選手・コーチが一丸となって戦うことができました。競技がない時間は他の選手のサポートや、競技場に響き渡る大応援を繰り広げるなど選手団が「長野」の名の下に団結し精一杯の競技をすることができました。

このような成績を残せたのも、大会までの合宿及び本大会に快く選手・コーチを派遣して下さった関係各校の皆様、各校顧問の先生方や長野陸上競技協会の会員の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

また、各選手とも、成果と同時に課題も見つけることができました。入賞の陰には、自己新を出していれば入賞、決勝または準決勝進出などという選手も数多くいたのも事実であります。自分の力を大舞台で出し切れるよう、更に努力を重ねて参ります。5 つの入賞のうち、1・2 年生が 3 つを数えます。次年度のジュニアオリンピックをにらみつつも、岡山全中にもこの結果をつなげ、入賞・自己記録更新を目指し、更なる強化策を進めて参ります。

今後ともより一層のお力添えをお願いいたしまして、結果報告とお礼のご挨拶と致します。

【長野県選手団結果一覧】

※決：決勝、準：準決勝、予：予選、() 内は順位、太字は入賞

(男子A)

100m 佐野 希汐(茅野東部3) 予 11.39(4)、準 11.43(6)

200m 村石 稜(三郷3) 予 22.89(5)

3000m 伊藤 大志(赤穂3) 決 2位 8:33.82

3000m 越 陽汰(川中島3) 予 9:10.93(21)

110mJH 原 惇也(浅間2) 予 15.77(7)

走高跳 片瀬 賢斗(高瀬3) 決 1.75(39)

砲丸投 永田 智哉(岡谷西部3) 決 11.15(31)、<5kg>

(男子B)

100m 今井 頼人(辰野2) 予 11.57(3)、準 11.57(4)

1500m 山川 拓馬(箕輪2) 予 4.16.14(8)

110mH 玉城 善多(櫻ヶ岡2) 予 16.37(6)

走幅跳 伊藤 司騎(望月2) 決 6.23(13)

砲丸投 有村 凌空(王滝2) 決 11.57(38)、<4kg>

(男子C)

100m 落合 華七斗(堀金1) 予 12.28(7)

1500m 小坂 悠太(仁科台1) 決 4位 4:19.87

松尾 悠登(下諏訪社1) 決 4:21.75(9)

走幅跳 南澤 爽太(小諸東1) 予 5.11(20)

(男子共通)

ジャベリックロー 林 亮典(野沢2) 予 58.05(14)

4x100mR 準 43.33(4) (落合、佐野、今井、村石)

(女子A)

100m 北沢 栞(三郷3) 予 12.48(3)、準 12.57(4)

3000m 千葉 麻里子(飯田西3) 決 7位 9:46.36

100mYH 深澤 あまね(旭町3) 予 16.04(8)

100mYH 中津 晴葉(更北 3) 予 14.97(2)、準 15.54(8)
 100mYH 塚田 菜々(小諸東 3) 予 14.74(3)、準 14.68(4)
 走高跳 長田 美羽(茅野東部 3) 決 1.50(23)
 砲丸投 西澤 咲花(野沢 3) 決 9.94(19)、<4kg>
 (女子 B)
 100m 宮岡 万優莉(長野東部 2) 予 12.64(3)、準 12.81(7)
 1500m 宮澤 実亜(川中島 2) 予 4:51.19(15)
 100mH 土屋 ほのか(軽井沢 2) 予 14.80(1)、準 15.08(7)
 100mH 市村 彩美(軽井沢 2) 予 15.48(4)
 走幅跳 北原 小遙(春富 2) 決 4.54(42)

砲丸投 福田 愛夢(辰野 2) 決 10.72(27)、<2.721kg>
 (女子 C)
 800m 佐藤 悠花(下伊那松川 1) 予 2:25.12(6)
走幅跳 宮原 凜成(坂城 1) 決 優勝 5.52(+0.9)
走幅跳 大森 里香(芦原 1) 決 6位 5.23(-0.4)
 走幅跳 牧内 愛実(坂城 1) 決 4.77(34)
 (女子共通)
 ジャバリックロー 倉田 紗優加(南箕輪 1) 予 34.78(31)
 4x100mR 準 48.52(3) (宮原、深澤、宮岡、北沢)

“日清食品カップ”第 20 回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会

駒ヶ根中沢 RC 監督 林 正俊

期日 12 月 9 日～10 日
 会場 万博記念公園東
 の広場特設コース

全国各都道府県 1 チーム、地元大阪 3 チームで全国 50 チームの参加で長野チームも全国に挑戦しました。

チーム編成は小学 5、6 年男子 3 人、女子 3 人と補欠男 1 女 1。オーダーは 1・3・5 区が女子、2・4・6 区が男子と規定されています。

県代表として全国の舞台でどこまで戦えるか、目標とすれば 15 位くらいを想定しての布陣で臨みました。

県内でもトップクラスの選手がいない、全員総力駅伝を繰りひろげて 28 位でフィニッシュ(3 チーム同タイム)が結果です。全員がベストコンディションには程遠く、調整の難しさを痛切に感じました。

【結果】

- 1 位 栃木 芳賀真岡陸上クラブ 30' 14"
- 2 位 千葉 チーム柏 30' 22"
- 3 位 東京 KJR 陸上クラブ 30' 57"
- 28 位 駒ヶ根中沢 RC 33' 02"**
- 第 1 区 小松 凜 43 位 5' 47"
- 第 2 区 大蔵 悟生 38 位 5' 21"
- 第 3 区 戸枝 くるみ 16 位 5' 32"
- 第 4 区 青木 颯 24 位 5' 23"
- 第 5 区 小野 梨里加 22 位 5' 42"
- 第 6 区 小木曾 翔太 24 位 5' 16"

20 回の記念大会に大阪万博公園で全国の仲間と競い合



った経験と、タスキを全員でつなぎ切った充実感を、今後中学生、高校生と成長していく過程において全国で通用する選手に育ってほしい。そして指導者として継続して育成するためには、選手 1 人 1 人の目標を明確にする中で、先をみつめて挑戦する心を子どもたちとともに育む、文字通りの選手育成に日々努めていこうと思います。今回、全国大会に出場し貴重な経験ができたこの子どもたちは、これを生かし必ずや成長してくれると信じています。

最後になりましたが、大会参加にあたり長野陸協を始め多くの方々にご支援ご協力いただきましたこと深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

【予選会】:白馬スノーハープクロスカントリー大会(7/22)
長野県チーム 1 位

【チームメンバー】

- 指導者 林 正俊 (西春近南小学校) 公認ジュニアコーチ
- 宮岡 聖次 (シナノケンシ) 公認ジュニアコーチ
- 男子 青木 颯 赤穂東 6 小木曾 翔太 東伊那 6
- 大蔵 悟生 赤穂南 6 福澤 栄暉 東伊那 6
- 女子 小野 梨里加 赤穂 6 小松 凜 赤穂南 6
- 戸枝 くるみ 赤穂東 6 出澤 幸芽 赤穂東 5

以上

第 25 回 全国中学校駅伝 滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン芝生ランド

= 女子 = 長野市立川中島中学校
陸上部駅伝担当 野澤 重典

= 男子 = 戸倉上山田中学校
陸上部顧問 片平 真理子



本校の女子駅伝チームは、11月3日(金)に行われました第28回長野県中学校駅伝競走大会で7年連続7回目の優勝を果たすことができました。そして、全国中学校駅伝大会への出場切符を獲得しました。指導してくださっております竹内万祐監督には心より感謝申し上げますとともに、ご支援いただいております皆様にも心よりお礼申し上げます。

今年は、選手みんなが「絶対的なエースがいない」こと「経験の浅いチームである」ことを十分認識していたので、「1人ひとりが失敗を恐れず、思い切ったレースをして優勝を目指そう」と心をひとつにして練習に取り組んできた成果だったと思います。

12月17日(日)に行われた全国大会では、「昨年の結果を超える」ことを目標に全力を尽くしました。しかし残念ながら、38位という結果となりました。好調を維持していた1区の2年生エースが大きく出遅れてしまいましたが、それを2～4区の2km区間を1年生トリオが必死に追い上げ、アンカーは粘って粘って走り切るという展開でした。昨年度の結果を超えることができなかった選手たちは悔しく、残念な気持ちでいっぱいなのですが、全員が前の選手を追い、全力でたすきをつなぐ姿には心から感動し、胸が熱くなる思いがしました。

全中駅伝は、強豪チーム・強豪選手が集う大会です。経験の浅い選手達がこの場を踏めたことは大変貴重な経験であり、選手の心にも一生残ることと思います。そして、来年への奮起を強く決意しているところです。

第25回全国中学校駅伝大会への出場に対しまして、陸協関係の皆様を始め、地域の皆様、各企業様、そして学校関係者など、多くの皆様方から多大なるご支援とご協力をいただきました。重ねて御礼申し上げます。今後とも本校陸上部に対しまして、温かいご支援・ご指導をいただければ幸いです。

<結果> **38位 44分54秒** (区間順位/通過順位)

区 (距離)	選手氏名	区間タイム等
1区 (3 km)	宮澤 実亜	11:34 (45/45)
2区 (2 km)	北沢 凜夏	7:15 (31/44)
3区 (2 km)	仁科 玲美	7:12 (13/39)
4区 (2 km)	高山 史歩	7:29 (28/37)
5区 (3 km)	渡邊 葵	11:24 (34/38)
補員	淀 小南津	7:59

12月16、17日に滋賀県で行われた「第25回全国中学校駅伝大会」に、本校男子駅伝チーム8名が出場させていただきました。結果は59分28秒、48チーム中の23位でした。長い芝の直線や緩やかな上り坂のコースは想像以上にきつく、目標としていた結果に届きませんでした。全国制覇という目標が達成できず、走りきった選手たちの表情は悔しさでいっぱいでした。個々の持てる力を全部出し切り、戦えなかったという結果は、全国の壁の厚さを感じたようです。

全中駅伝出場への道のりはちょうど一年前に始まりました。県中駅伝で4位という悔しい結果。そして川中島中学校が全国で5位入賞。その時点での自分たちの実力を認めると同時に、次の目標は全国制覇しかない全員で強く胸に誓いました。学校、社会体育のクラブの中で、戸上陸上ジュニアクラブの宮入コーチの熱心なご指導のもと着実に力をつけていきました。

4月に着任した私は、目標に向かって日々熱心に練習する姿を見て、このチームなら必ず全中駅伝に出場できると確信し、全力でサポートしていきました。戸倉上山田中陸上部の伝統である三方針「感謝の気持ち」「協力体制」「時間を守る」。選手である前に当たり前のことができる人になることを心がけ、おかげさまの精神で練習を積み重ね、その結果が全中駅伝出場に繋がったと思います。そして、地域の方々、保護者の皆様、学校関係者の皆様方から温かく支えていただいたことも選手の大きな力となり、無事大会当日を迎えることができました。

大会を終え、選手全員が「感謝の気持ちと共に、全力を出し切れた」という思いを語りました。また、3年生は1年生に向かって「2年後は必ず全国制覇へ」という言葉を残し、来年、再来年への挑戦を胸に再出発を果たしました。

<結果> **23位 59分28秒** (区間順位/通過順位)

区 (距離)	選手氏名	区間タイム等
1区 (3 km)	依田 健汰	9:31 (26/26)
2区 (3 km)	古旗 朝輝	9:28 (4/9)
3区 (3 km)	松本 啓吾	9:58 (19/13)
4区 (3 km)	和田 瑛登	10:17 (37/19)
5区 (3 km)	山岸 洸	10:17 (33/23)
6区 (3 km)	真柳 則希	9:57 (20/23)
補員	竹内 朝輝	10:28
補員	中村 春稀	12:00

長野陸協派遣大会：東日本女子駅伝・福井スーパーレディス駅伝

堂々 準優勝 (18 チーム出場)

第 33 回東日本女子駅伝競走大会 11 月 12 日
FTVふくしまマラソンコース 9 区間 42.195km

①千葉 2:18:37 ③茨城 2:20:15 (区間順位)

区間(距離)	氏名(所属)	記録	通過順位
1区(6.0km)	和田 有菜(長野東高)	19:28	2位
2区(4.0km)	小林 成美(長野東高)	13:19	2位(2位)
3区(3.0km)	高安 結衣(長野東高)	10:12	2位(1位)
4区(3.0km)	千葉 麻里子(飯田西中)	10:12	1位(4位)
5区(5.0875km)	玉城 かなな(名城大)	17:10	1位(3位)
6区(4.1075km)	松澤 綾音(長野東高)	13:17	1位(1位)
7区(4.0km)	村上 愛華(日体大)	13:07	1位(4位)
8区(3.0km)	松井 美蓉(阿智中)	10:00	2位(14位)
9区(10.0km)	細田 あい(日体大)	32:36	2位(4位)
総合成績		2:19:21	2位

最後の大会開催 (33 チーム出場)

第 33 回福井スーパーレディス駅伝競走大会 11 月 12 日
スーパーレディス 30km(福井市) 6 区間 30.0km

①大阪学院大A (大阪) 1:39:15 (区間順位)

区間(距離)	氏名(所属)	記録	通過順位
1区(6.0km)	小口 雪音(大東大)	20:52	19位
2区(3.0km)	藤岡 緩奈(東海大諏訪高)	10:00	16位(6位)
3区(4.0km)	小原 茉莉(長野東高)	13:47	15位(13位)
4区(3.99km)	川上 綾香(日体大)	14:23	15位(13位)
5区(5.01km)	臼田 彩花(長野東高)	17:02	14位(10位)
6区(8.0km)	岡村 未歩(城西大)	30:00	16位(23位)
総合成績		1:46:04	16位

②日立(茨城) 1:39:54 ③福岡大(福岡) 1:40:16
<残念ながら、本大会は今回で終了することになった>

東日本女子駅伝スタッフ				福井スーパーレディス駅伝スタッフ			
役職	氏名	勤務先・所属		役職	氏名	勤務先・所属	
団長	北島 正孝	県陸協駅伝部長		団長	小口 眞喜也	県陸協副会長	
監督	玉城 良二	長野東高校		監督	横打 史雄	上伊那農業高校	
コーチ	木下 純市	箕輪中学校		コーチ	横川 佐知雄	県陸協道路競技部長	
コーチ	富永 浩一	鉢盛中学校		コーチ	柳澤 瑞樹	下高井農林高校	
コーチ	竹内 万祐	長野市陸協		コーチ	亀山 絵未	東海大諏訪高校	
コーチ	小幡 泰俊	松本陸協					
コーチ	横地 京子	上田東高校					
				コーチ	平林 哲郎	県教委	
				コーチ	丸山 健志	上水内陸協	
				コーチ	小川 裕樹	長野高専	
				コーチ	田中 聡	飯田高校	
				トレーナー	窪田 勝	くぼた整骨院	
				トレーナー	野竹 康之	野竹接骨院	

第 66 回 長野県縦断駅伝 上伊那 4 連覇 37 回目の優勝、初日 長野市優勝

大会開催にあたりご尽力、ご協力いただきました皆様、ラジオ・沿道等で応援いただいた皆様、大変ありがとうございます。また、2 日間にわたり、交通規制等にご理解ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

県縦断の危機！ 上伊那の 4 年連続優勝で無事終了し安堵した直後、「要項どおり規則を守って運営していない」、「関連・応援車両の運転状況が悪い」、特に「レース帯(先導白バイから最終車までの間)に関係・応援車両が進入してしまう規則違反が繰り返されている」等々、ご尽力頂いている長野県警察様からご指導をいただきました。継続には、大会の抜本的改革による競技者の安全確保、規則遵守の具体的な対応等が求められています。理事会としては 3 年間改善し成果が上がってきたと捉えていただけに残念です。継続のために皆様の英知と行動、ご協力をお願い致します。(理事長)

< 総合成績 >

順位	チーム	記録	順位	チーム	記録	順位	チーム	記録
1	上伊那	11:52:52	6	全佐久	12:13:33	11	中野下高井	12:34:17
2	全諏訪	11:56:21	7	塩尻東筑木曾	12:18:49	12	安曇野市	12:36:36
3	長野市	11:57:39	8	千曲坂城	12:24:28	13	飯山栄	12:41:54
4	上田東御小県	12:08:14	9	松本市	12:26:26	14	大町北安曇	12:46:27
5	飯田下伊那	12:09:32	10	須坂上高井	12:27:41	15	上水内	13:19:07

規制のない公道を借用しているため、県警様約500名、交通安全協会様約1000名他多数のボランティアの皆様方のご尽力で運営されている。

< 区間成績 >

新：区間新記録

区	氏名	チーム	記録	区	氏名	チーム	記録
1	白川 友一	須坂上高井	34:55	12	村澤 智啓	長野市	33:18
2	高木 航志	上田東御小県	22:33新	13	中村 柚音	上伊那	06:43
3	越 陽汰	長野市	11:38	14	宮下 晴貴	上伊那	33:50
4	大野 雄揮	長野市	49:48	15	上原 雄大	上伊那	31:24
5	千葉 麻里子	飯田下伊那	10:37	16	清沢 創一	全諏訪	32:48
6	矢澤 明德	全諏訪	40:48	17	押川 裕貴	塩尻東筑木曾	48:17
7	杉田 真英	全佐久	28:02	18	牛山 純一	全諏訪	30:19新
8	高橋 悠平	全諏訪	36:24	19	浅田 志帆	上田東御小県	15:33
9	松村 健一	飯田下伊那	38:01	20	山川 拓馬	上伊那	12:58
10	原 広野	上伊那	45:17	21	桃澤 大祐	上伊那	53:04
11	鈴木 稜哉	全諏訪	31:17	22	萩原 英雄	上伊那	47:34



交通渋滞他、危険が潜んでいます!

平成 29 年度(9/18~12/31) 主要競技会結果一覧 (全国大会は 8 位入賞まで)

第 65 回全日本実業団対抗選手権大会

期日：平成 29 年 9 月 22 日-24 日

場所：ヤンマースタジアム長居(大阪)

【男子】

- ▶400mH
- ⑤中野 直哉 (飯田病院) 50.60
- ▶三段跳
- ①石川 和義 (長野吉田高教) 15.93(+0.5)

【女子】

- ▶200m
- ⑦今井 沙緒里 (飯田病院) 24.47(+0.2)
- ▶10000mW
- ⑤大和 千秋 (飯田病院) 50:14.62
- ▶走高跳
- ⑥片平 真理子 (戸倉上山田中教) 1.65
- ▶ハンマー投(4.000kg)
- ⑧中島 未歩 (八幡屋儀五郎) 55.11

【女子】

- ▶W35 100m
- ①熊谷 香織 13.06(-1.1)
- ▶W50 走幅跳
- ②西澤 香 4.31(+1.6)
- ▶W65 走幅跳
- ②大日向 暁子 3.75(+0.2)
- ▶W65 立五段跳
- ①大日向 暁子 11.64(NR/GR)
- ▶W70 砲丸投(3.000kg)
- ①市川 節子 7.23
- ▶W70 円盤投(1.000kg)
- ②市川 節子 17.08
- ▶W75 100m
- ⑥鶴見 文子 21.27(+1.2)
- ▶W75 走幅跳
- ③鶴見 文子 2.36(-0.2)

【女子】5区間 21.0975km

- ①長野東 1:09:24 (大会新)
- ②諏訪二葉 1:17:03
- ③東海大諏訪 1:17:27

男子第 54 回 女子第 30 回 北信越高等学校駅伝競走大会

期日：平成 29 年 11 月 19 日

場所：こまつドームマラソコース(石川)

【男子】7区間 42.195km

- ①佐久長聖 2:05:41
- ②中越(新潟) 2:09:36
- ③遊学館(石川) 2:10:13

【女子】5区間 21.0975km

- ①長野東 1:11:02
- ②富山商 1:12:44
- ③十日町(新潟) 1:14:51

第 38 回国際・全日本マスターズ陸上

期日：平成 29 年 10 月 27 日-29 日

場所：紀三井寺公園陸上競技場(和歌山)

(NR:マスターズ日本新記録 GR:大会新記録)

【男子】

- ▶M35 5000m
- ②大村 一 15:39.09
- ⑥小林 豊 17:09.96
- ▶M40 5000m
- ②中村 賢太郎 17:48.45
- ▶M40 4x100m
- ⑥長野 (矢澤恵一・宮澤 憲二 宮原 清司・上條 健)
- ▶M45 立五段跳
- ⑥宮原 清司 13.08
- ⑧上條 健 12.77
- ▶M45 ハンマー投(7.260kg)
- ④上條 健 27.39
- ▶M55 走高跳
- ②百瀬 晶文 1.50
- ③岩元 義和 1.50
- ▶M55 立五段跳
- ③岩元 義和 13.47
- ▶M55 ハンマー投(6.000kg)
- ③齊藤 和彦 34.80
- ▶M60 走高跳
- ③宮本 吉豊 1.40
- ▶M65 100m
- ①高橋 政幸 13.22(+0.9)
- ▶M65 100mH(0.840m)
- ①高橋 政幸 15.78(+0.2)
- ▶M70 100m
- ④天沼 昭彦 14.17(+1.0)
- ▶M75 円盤投(1.000kg)
- ②山田 榮一郎 29.47
- ▶M75 ハンマー投(4.000kg)
- ③山田 榮一郎 36.63

第 33 回 U20 日本陸上競技選手権大会

期日：平成 29 年 10 月 20 日-22 日

場所：パロマ瑞穂スタジアム(愛知)

【男子】

- ▶200m
- ④樋口 一馬 (法大) 21.43(+0.4)
- ▶砲丸投(6.000kg)
- ⑤米倉 朋輝 (新潟医福大) 16.04
- 【女子】
- ▶走幅跳
- ⑧森本 知隼 (松本県ヶ丘高) 5.70(-1.3)
- ▶やり投(0.600kg)
- ⑦湯本 珠実 (松商学園高) 47.61

第 11 回 U18 日本陸上競技選手権大会

期日：平成 29 年 10 月 20 日-22 日

場所：パロマ瑞穂スタジアム(愛知)

【男子】

- ▶100m
- ⑦中嶋 謙 (松商学園高) 10.79(+0.1)
- ▶400mH
- ⑧児玉 悠作 (市立長野高) 54.46
- 【女子】
- ▶三段跳
- ⑥宮澤 歩 (諏訪二葉高) 11.99(-0.2)

男子第 68 回 女子第 29 回

長野県高校駅伝大会

期日：平成 29 年 11 月 05 日

場所：大町市運動公園陸上競技場付属マラソコース他

【男子】7区間 42.195km

- ①佐久長聖 2:05:48
- ②長野日大 2:11:24
- ③東海大諏訪 2:13:44

第 28 回長野県中学校駅伝大会

期日：平成 29 年 11 月 3 日

場所：県松本平広域公園陸上競技場内周回コース

【男子】6区間 18.0km

- ①戸倉上山田 57:21
- ②赤穂 57:28
- ③箕輪 57:48

【女子】5区間 12.15km

- ①川中島 43:48
- ②富士見 44:16
- ③赤穂 45:15

第 11 回北信越中学校駅伝大会

期日：平成 29 年 11 月 23 日

場所：県松本平広域公園陸上競技場内周回コース

【男子】6区間 18.0km

- ①津南(新潟) 57:14
- ②箕輪 57:28
- ③大沢野(富山) 57:34

【女子】5区間 12.15km

- ①津幡南(石川) 41:58
- ②小千谷(新潟) 42:06
- ③佐和田(新潟) 42:34



県縦の左端走行はほぼ定着してきた

長野陸協会議録

第34回理事会 平成29年11月26日(日) 14:50~16:15

電磁的方法による会議。理事全員の賛成を得て、監事全員の異議が無いことを確認し、原案どおり確定した。

出席者 理事 26名、監事：宮島義征、熊谷賢二、市川広徳

1. 協議事項

議案第1号 東日本女子駅伝、福井スーパーレディス駅伝の長野県選手団派遣について

第35回理事会 平成29年11月23日(木) 14:10~17:00

場所：松本平広域公園陸上競技場会議室

出席者数 理事 23名(開催要件：定款第36条 定足数1/2)、監事 3名

議事録署名人 内山代表理事、熊谷監事、議長 代表理事

1. 協議事項 (2018年度の大会日程案の「長野県競歩大会の復活」(理事長提案)以外はすべて原案どおり承認された。)

議案第1号 日本陸連・長野県体協・長野陸協栄章候補者(案)

議案第2号 栄章規程等の一部改正(案)

議案第3号 審判資格取得・昇格者について(案)

議案第4号 8月以降の競技会反省

議案第5号 事業中間報告(案)

議案第6号 長野陸協一般会計決算中間報告(案)

議案第7号 一般会計第二次補正予算(案)

議案第8号 2018年度長野陸協広告要領について(案)

議案第9号 長野陸協創立70周年記念誌について(案)

議案第10号 2018年度事業計画(案)

議案第11号 2018年度競技日程(案)

議案第12号 長野マラソンについて(案)

議案第13号 2018市町村対抗駅伝について(案)

議案第14号 2027長野国体について(案)

議案第15号 長野マスターズ連盟登録競技者の日本陸連登録について(案)

議案第16号 都道府県対抗駅伝選手団について(案)

その他 ・長野県体育協会の名称変更について

・長野陸協審判員の冬期ウェアについて

【報告事項】

1 日本陸連・東海陸協懇談会について(内山代表理事)

2 女性部からの中間報告(芳川女性部長)

3 国体結果等のヒアリング(藤森普及強化委員長)

4 東海地区小学生担当者会議(篠原普及部長)

5 第20回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会について(篠原普及部長)

その他 :SBC信越放送からのお願い(番組：「陸王」視聴コーナー)について

第15回 評議員会 平成29年12月2日(土) 10時~11:45

場所 松本市 アルウィン・第9会議室

出席者 評議員6名(有効に成立)、理事11名、監事2名

議長に堀評議員、議事録署名人には、白澤評議員・富松評議員がそれぞれ選出された。

1. 協議事項(すべての議案は原案どおり承認された)

議案第1号 2017年度事業中間報告案

議案第2号 2017年度一般会計中間決算報告案

議案第3号 2017年度第二次補正予算案

2. 報告事項

第35回理事会の内容について、それぞれ代表理事、業務執行理事、および理事各位から報告と質疑応答があった。

第12回(H29年度後期) 全体協議会

平成29年12月2日(土) 13時~14:15

場所 松本市 アルウィン・第9会議室

協議員出席者数 12名/26(南信2/4, 中信3/6, 北信3/8, 東信2/3, 協力団体2/5)

報告内容 第35回理事会の内容および第15回評議員会の内容について、それぞれ代表理事、業務執行理事、および理事各位から報告があり、質疑応答等意見交換が行われた。

長野陸協からのお知らせ

1. 「長野陸上競技協会創立70周年記念誌」の発刊・頒布

申込は同封の用紙か E-mail <info07@nagano-rk.com> でお願ひします。残り部数が少なくなっておりますのでお早めにお願ひ致します。1冊 税込み 2,500円：お振り込み下さい。

*** 主な掲載内容*** 【寄稿】東海大学陸上競技部駅伝監督 両角速氏、千代馨脩氏、千代和三郎氏、依田良春氏、大日向 暁子氏 【長野陸協 30年のあゆみ】、【記録の変遷】歴代ランキング、長野県の記録、歴代県選手権者、【協会関係】栄章の記録、歴代役員、審判名簿他、A4版 135P. (事務局長)

2. 長野陸協審判用 冬期ウェア(競技運営委員長)

理事会・競技運営委員会では、これまで統一されていなかった審判用冬期ウェア(ウインドブレーカ)を別紙のとおり確定しました。これまでのロングコートも当面可能としますが、「春の高校伊那駅伝」では、全国規模の大会でテレビ放映もありますので、極力統一着用をお願い致します。また、春、秋等寒い時の競技会でも着用できるよう、厚手・薄手を用意しましたのでご活用下さい。

3. 2月10日 長野陸協アスレティックス・アワード開催

2月10日(土) 長野ホテル犀北館(長野市)

表彰式 午前11時、祝賀会午後12時30分 開会予定

2017年度栄章受章者はじめ多くの会員の皆様のご来場をお待ちしております。また、都道府県対抗駅伝優勝の場合は、「祝賀会」を合わせて行います。(事務局長)

4. 2018年度審判講習会について(競技運営委員長)

日時 H30年3月25日(日)9時30分~15時 場所 松本大学

・13時~15時は、2027年国体に向けた研修会を開催します。

内容 1)長野陸協の取り組み状況について(各理事)

2)研修：「最新トレーニング科学」講師：森谷敏夫先生(京都大学名誉教授) 筋・神経系を中心に最新の話題について講演頂きます。選手強化のためには指導者の共通認識が重要ですし、この分野は進化が著しいので常に研修が必要です。是非、ご出席をお願い致します。(理事長)

5. 「長野の陸上競技2017総集編(小・中・高生版)」発刊

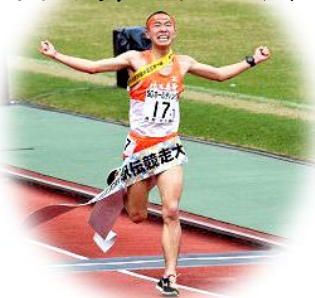
年間広告を頂いている(株)杏花印刷から1月1日に発売されました。書店でお買い求め下さい。また、Nagano Nsports Vol.13(フリーマガジン)も年末に発行されました。(理事長)

佐久長聖高 優勝 全国高校駅伝 12/24 長野東高 準優勝



男子第68回大会 優勝 9年ぶり2回目

記録 2時間02分44秒



- ②2:04.11 倉敷・岡山
- ③2:04.59 仙台育英・宮城
- ④2:05.00 大分東明・大分
- ⑤2:05.20 一関学院・岩手
- ⑥2:05.22 浜松日体・静岡
- ⑦2:05.25 札幌山の手・北海道
- ⑧2:05.32 須磨学園・兵庫

女子第29回大会 準優勝

1時間07分41秒 県高校最高記録



- ①1:06.35 仙台育英・宮城
- ③1:07.46 薫英女学院・大阪
- ④1:08.30 立命館宇治・京都
- ⑤1:08.37 筑紫女学園・福岡
- ⑥1:08.46 西協工・兵庫
- ⑦1:08.55 興譲館・岡山
- ⑧1:09.04 神村学園・鹿児島

区	氏名	学年	記録	順位(区間)	出身中学
1	中谷 雄飛	3	29:15	1(1)	下諏訪
2	服部 凱杏	1	8:06	1(1)	千種(愛知)
3	松崎 咲人	2	24:21	2(7)	塩尻広陵
4	本間 敬大	3	23:28	2(1)	豊中十一(大阪)
5	富田 陸空	1	8:42	2(2)	中村(栃木)
6	鈴木 芽吹	1	14:20	1(1)	泉(静岡)
7	山本 嵐	3	14:32	1(3)	田鶴浜(石川)
補	丸山 幸輝	3			川中島
補	高木 航志	3			上田五
補	濱野 将基	2			浦賀(神奈川)

昨年、京都で行われました全国高等学校駅伝競走大会では、多大なるご支援、ご声援ありがとうございました。

おかげさまで、9年ぶり2回目の優勝を果たすことができました。これも、日頃から駅伝部を支えて下さっている方々のおかげです。この場をお借りし感謝申し上げます。

今回の結果に驕ることなく精進してまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶、全国高校駅伝のお礼とさせていただきます。

2018年1月 駅伝部監督 高見澤 勝

11年連続11回目の都大路を、皆様方の温かいご声援とご支援により、準優勝を果たしメダルを獲得できました。心より感謝申し上げます。

レースは1区和田が各校のエースが集う「花の1区」で見事に2年連続区間賞の走りチームに勢いをつけ、2区高松は留学生に果敢に挑み絶好の流れとなりました。3区高安、4区臼田は堅実な走りでの2位を保持し、アンカー小林はトラックでの2位争いを制しました。準優勝と記録の1時間7分41秒はこれまでの長野県高校最高記録を大きく上回り、長野東高校ならではの「17名全員駅伝」ができました。

これまでご支援やご声援をいただいた皆様方に「感謝の気持ちを走りでお返しをする」というチーム全員の気持ちが、苦しい場面を耐える力となりました。そして皆様方に私達ならではのクリスマスプレゼントを贈れたことは大変嬉しく思います。

この結果に満足することなく、高校生としてのクラブ活動の目的を忘れることなく、新たなチーム目標を持って努力をしていきます。皆様方に心より感謝申し上げ、大会の結果報告と御礼とさせていただきます。2017年12月24日 長野東高校女子駅伝チーム 選手一同 陸上競技部監督 玉城 良二

日本陸連 U-19 強化研修合宿・全国高体連陸上競技専門部強化合宿北信越合宿が昨年末 12/25~28 に松本平広域公園で開催された。北信越高校各県のトップアスリート210名余りが集い、塚原直貴先生、嶺村鴻汰・川元奨選手をはじめ長野県並びに各県の指導者をコーチとしてパート毎、心・技・体を鍛え成果を高めた。2018年の活躍が楽しみです。(表紙上段は合宿終了時の参加者全員の集合写真)

編集後記：2017年は都道府県男女駅伝の活躍(男子は優勝)に始まり、全国高校駅伝男子優勝、女子準優勝というこの上ない素晴らしい結果で幕を閉じました。本年の幕開けも都道府県男女駅伝の活躍に期待します。今年は、日本混成など日程が変則的になり、これまでに苦戦しそうです。皆様のご協力をお願い致します。充実した素晴らしい年になりますようご祈念致します。(委員一同)